

令03原機(峠)019

令和3年4月23日

原子力規制委員会 殿

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

理事長 児玉 敏雄

(公印省略)

### 核燃料物質使用変更届

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第55条第2項の規定に基づき、下記のとおり核燃料物質の使用の許可に係る変更を届け出ます。

#### 記

##### 1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

名 称：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

住 所：茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1

代表者の氏名：理事長 児玉 敏雄

事業所の名称：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

人形峠環境技術センター

事業所の住所：岡山県苦田郡鏡野町上齋原1550番地

##### 2. 変更内容

核燃料物質の予定使用期間について、「自：令和3年4月1日～至：令和6年3月31日」に変更する。

詳細は、別添に示す。

##### 3. 変更理由

核燃料物質の使用を継続するため

以上

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

人形峠環境技術センター

核燃料物質使用変更届 新旧対照表

令和3年4月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

変更箇所を \_\_\_\_\_ で示す。

### 人形崎環境技術センター共通編

変更前	変更後	変更の理由																																								
<p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>5-1. 事業所全体</p> <p>人形崎環境技術センター全体における予定使用期間及び年間予定使用量を表5-1に示す。</p> <p>表5-1 人形崎環境技術センター全体における予定使用期間及び年間予定使用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>核燃料物質の種類</th><th>予定使用期間</th><th>年間予定使用量 (最大存在量)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td><td rowspan="6">自:平成29年10月3日 至:令和3年3月31日</td><td>191.2 tU *1</td></tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td><td>414,000.5 kg</td></tr> <tr> <td>トリウム及びその化合物</td><td>10 kgfh</td></tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物</td><td>80,007.5 kgU</td></tr> <tr> <td>濃縮度5%以下 *2</td><td>1.0 kgU</td></tr> <tr> <td>濃縮度1.6%以下 *2</td><td>8 tU</td></tr> <tr> <td>濃縮度1.3%以下 *2</td><td>300 kgU</td></tr> <tr> <td>鉱石天然ウラン及びその化合物</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>* 1 ウラン化合物の取扱い技術に係る成果の普及を目的とした調合試験に供するウラン（最大2,400gU）を含む。なお、調合したウラン化合物の人形崎環境技術センターからの払出しは、年間600gUとする。</p> <p>* 2 以下、本申請書において特記しない限り、%は質量分率を示す。</p>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 (最大存在量)	天然ウラン及びその化合物	自:平成29年10月3日 至:令和3年3月31日	191.2 tU *1	劣化ウラン及びその化合物	414,000.5 kg	トリウム及びその化合物	10 kgfh	濃縮ウラン及びその化合物	80,007.5 kgU	濃縮度5%以下 *2	1.0 kgU	濃縮度1.6%以下 *2	8 tU	濃縮度1.3%以下 *2	300 kgU	鉱石天然ウラン及びその化合物		<p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <p>5-1. 事業所全体</p> <p>人形崎環境技術センター全体における予定使用期間及び年間予定使用量を表5-1に示す。</p> <p>表5-1 人形崎環境技術センター全体における予定使用期間及び年間予定使用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>核燃料物質の種類</th><th>予定使用期間</th><th>年間予定使用量 (最大存在量)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ウラン及びその化合物</td><td rowspan="6">自:令和3年4月1日 至:令和6年3月31日</td><td>191.2 tU *1</td></tr> <tr> <td>劣化ウラン及びその化合物</td><td>414,000.5 kg</td></tr> <tr> <td>トリウム及びその化合物</td><td>10 kgfh</td></tr> <tr> <td>濃縮ウラン及びその化合物</td><td>80,007.5 kgU</td></tr> <tr> <td>濃縮度5%以下 *2</td><td>1.0 kgU</td></tr> <tr> <td>濃縮度1.6%以下 *2</td><td>8 tU</td></tr> <tr> <td>濃縮度1.3%以下 *2</td><td>300 kgU</td></tr> <tr> <td>鉱石天然ウラン及びその化合物</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>* 1 ウラン化合物の取扱い技術に係る成果の普及を目的とした調合試験に供するウラン（最大2,400gU）を含む。なお、調合したウラン化合物の人形崎環境技術センターからの払出しは、年間600gUとする。</p> <p>* 2 以下、本申請書において特記しない限り、%は質量分率を示す。</p>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 (最大存在量)	天然ウラン及びその化合物	自:令和3年4月1日 至:令和6年3月31日	191.2 tU *1	劣化ウラン及びその化合物	414,000.5 kg	トリウム及びその化合物	10 kgfh	濃縮ウラン及びその化合物	80,007.5 kgU	濃縮度5%以下 *2	1.0 kgU	濃縮度1.6%以下 *2	8 tU	濃縮度1.3%以下 *2	300 kgU	鉱石天然ウラン及びその化合物		<p>・核燃料物質の使用を継続するため</p>
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 (最大存在量)																																								
天然ウラン及びその化合物	自:平成29年10月3日 至:令和3年3月31日	191.2 tU *1																																								
劣化ウラン及びその化合物		414,000.5 kg																																								
トリウム及びその化合物		10 kgfh																																								
濃縮ウラン及びその化合物		80,007.5 kgU																																								
濃縮度5%以下 *2		1.0 kgU																																								
濃縮度1.6%以下 *2		8 tU																																								
濃縮度1.3%以下 *2	300 kgU																																									
鉱石天然ウラン及びその化合物																																										
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 (最大存在量)																																								
天然ウラン及びその化合物	自:令和3年4月1日 至:令和6年3月31日	191.2 tU *1																																								
劣化ウラン及びその化合物		414,000.5 kg																																								
トリウム及びその化合物		10 kgfh																																								
濃縮ウラン及びその化合物		80,007.5 kgU																																								
濃縮度5%以下 *2		1.0 kgU																																								
濃縮度1.6%以下 *2		8 tU																																								
濃縮度1.3%以下 *2	300 kgU																																									
鉱石天然ウラン及びその化合物																																										

変更箇所を \_\_\_\_\_ で示す。

### 人形崎環境技術センター共通編

変更前	変更後	変更の理由												
<p>5-2. 施設ごと 人形崎環境技術センター内の各施設における予定使用期間及び年間予定使用量を、下記の別冊に示す。</p> <table border="1"><thead><tr><th>施 設 名</th><th>別冊番号</th></tr></thead><tbody><tr><td>開発試験棟</td><td>別冊1</td></tr><tr><td>濃縮工学施設</td><td>別冊2</td></tr><tr><td>廃棄物処理施設</td><td>別冊3</td></tr><tr><td>製練転換施設</td><td>別冊4</td></tr><tr><td>解体物管理施設</td><td>別冊5</td></tr></tbody></table>	施 設 名	別冊番号	開発試験棟	別冊1	濃縮工学施設	別冊2	廃棄物処理施設	別冊3	製練転換施設	別冊4	解体物管理施設	別冊5	(変更なし)	
施 設 名	別冊番号													
開発試験棟	別冊1													
濃縮工学施設	別冊2													
廃棄物処理施設	別冊3													
製練転換施設	別冊4													
解体物管理施設	別冊5													

変更箇所を\_\_\_\_\_で示す。

### 開発試験棟（別冊1）

変更前		変更後		変更の理由
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		・核燃料物質の使用を継続するため
		最大存在量	延べ取扱量	
天然ウラン 鉱石天然ウラン	自：平成27年4月1日 至：令和3年3月31日	200 kg (U量) * *ウラン化合物の分析及び取扱い技術に係る成果の普及を目的とした調合試験に供するウラン(最大1,200 g) を含む。	200 kg (U量) * *ウラン化合物の分析及び取扱い技術に係る成果の普及を目的とした調合試験に供するウラン(最大1,200 g) を含む。	・核燃料物質の使用を継続するため
トリウム		10 kg (Th量)	10 kg (Th量)	
劣化ウラン		0.5 kg (U量)	0.5 kg (U量)	
濃縮ウラン (濃縮度1.6%以下)		1.0 kg (U量) (16 g <sup>235</sup> U)	1.0 kg (U量) (16 g <sup>235</sup> U)	
濃縮ウラン（天然系） (濃縮度5%以下)		1.0 kg (U量) (50 g <sup>235</sup> U)	1.0 kg (U量) (50 g <sup>235</sup> U)	
濃縮ウラン（回収系） (濃縮度5%以下)		1.5 kg (U量) (75 g <sup>235</sup> U)	1.5 kg (U量) (75 g <sup>235</sup> U)	

変更箇所を \_\_\_\_\_ で示す。

### 濃縮工学施設（別冊2）

変更前				変更後				変更の理由
核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量		・核燃料物質の使用を継続するため
		最大存在量	延べ取扱量			最大存在量	延べ取扱量	
天然ウラン及びその化合物 *1	自：平成29年10月3日 至：令和3年3月31日	150 tU *3	150 tU *3	天然ウラン及びその化合物 *1	自：令和3年4月1日 至：令和6年3月31日	150 tU *3	150 tU *3	・核燃料物質の使用を継続するため
劣化ウラン及びその化合物 *1、*2		411 tU	411 tU	劣化ウラン及びその化合物 *1、*2		411 tU	411 tU	
濃縮ウラン及びその化合物 *1、*2 (濃縮度5%以下) *4		80 tU (4 t <sup>235</sup> U)	80 tU (4 t <sup>235</sup> U)	濃縮ウラン及びその化合物 *1、*2 (濃縮度5%以下) *4		80 tU (4 t <sup>235</sup> U)	80 tU (4 t <sup>235</sup> U)	

\* 1 酸化ウランを含む。

\* 2 回収ウランを含む。

\* 3 ウラン化合物の取扱い技術に係る成果の普及を目的とした調合試験に供するウラン  
(最大 1,200gD) を含む。

\* 4 以下、本申請書において特記しない限り、%は質量分率を示す。

変更箇所を \_\_\_\_\_ で示す。

廃棄物処理施設（別冊3）

変更前	変更後	変更の理由		
<p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量 5-1. 事業所全体 人形町環境技術センター共通編のとおり</p> <p>5-2. 施設ごと</p> <table border="1"><tr><td>予定使用期間及び年間予定使用量</td><td>該当なし</td></tr></table>	予定使用期間及び年間予定使用量	該当なし	(変更なし)	
予定使用期間及び年間予定使用量	該当なし			

変更箇所を \_\_\_\_\_ で示す。

### 製鍊転換施設（別冊4）

変更前		変更後		変更の理由
核燃料物質の種類	予定使用期間 自：令和元年6月4日 至：令和3年3月31日	年間予定使用量		・核燃料物質の使用を継続するため
		最大存在量	延べ取扱量	
天然ウラン及びその化合物	自：令和元年6月4日 至：令和3年3月31日	41 tU	41 tU	・核燃料物質の使用を継続するため
劣化ウラン及びその化合物		3 tU	3 tU	
濃縮ウラン及びその化合物 (回収ウラン 濃縮度 1.3%*1以下)		8 tU (104 kg $^{235}\text{U}$ )	8 tU (104 kg $^{235}\text{U}$ )	
濃縮ウラン及びその化合物 (天然ウラン 濃縮度 5%*1以下)		5 kg U (250 g $^{235}\text{U}$ )	5 kg U (250 g $^{235}\text{U}$ )	

\* 1 以下、本申請書において特記しない限り、%は質量分率を示す。

\* 1 以下、本申請書において特記しない限り、%は質量分率を示す。

変更箇所を\_\_\_\_\_で示す。

### 解体物管理施設（別冊5）

変更前	変更後			変更の理由			
5. 予定使用期間及び年間予定使用量 5-1. 事業所全体 人形寺環境技術センター共通編のとおり							
5-2. 施設ごと							
核燃料物質の種類			年間予定使用量				
核燃料物質の種類		予定使用期間	年間予定使用量				
鉱石天然ウラン		自：平成27年4月1日 至：令和3年3月31日	300 kg U	300 kg U			
鉱石天然ウラン		自：令和3年4月1日 至：令和6年3月31日	300 kg U	300 kg U			
・核燃料物質の使用を継続するため							